

宮古盛岡横断道路【都南川目道路】
(仮称) 手代森トンネル「安全祈願祭」のお知らせ
～ (仮称) 手代森トンネルの掘削が始まります～

宮古盛岡横断道路を構成する「都南川目道路」は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、1日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めております。

都南川目道路は市街地や東北縦貫自動車道のインターチェンジ等へのアクセスの円滑化並びに物流の円滑化が期待されています。

この度、都南川目道路の「(仮称)手代森トンネル」の掘削開始にあたり、被災地の1日も早い復興と工事の無事故・無災害を願い、安全祈願祭を執り行うこととしましたので、お知らせ致します。

記

1. 日時：平成26年11月1日(土) 11時より(1時間程度)
2. 場所：岩手県盛岡市手代森地内 (別添会場案内図参照)
(都南川目道路手代森トンネル宮古市側坑口)
3. 主催：清水建設(株)東北支店
4. 内容：工事関係者・地区代表者による安全祈願等
5. 手代森トンネルの概要：延長2,625m 断面積約95m²
幅員12m

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>

(問い合わせ先)

《安全祈願祭や施工内容に関する問い合わせ》

清水建設(株)東北支店 手代森トンネル作業所

TEL 019-601-5647

現場代理人 なかしま 中島 まさる 賢

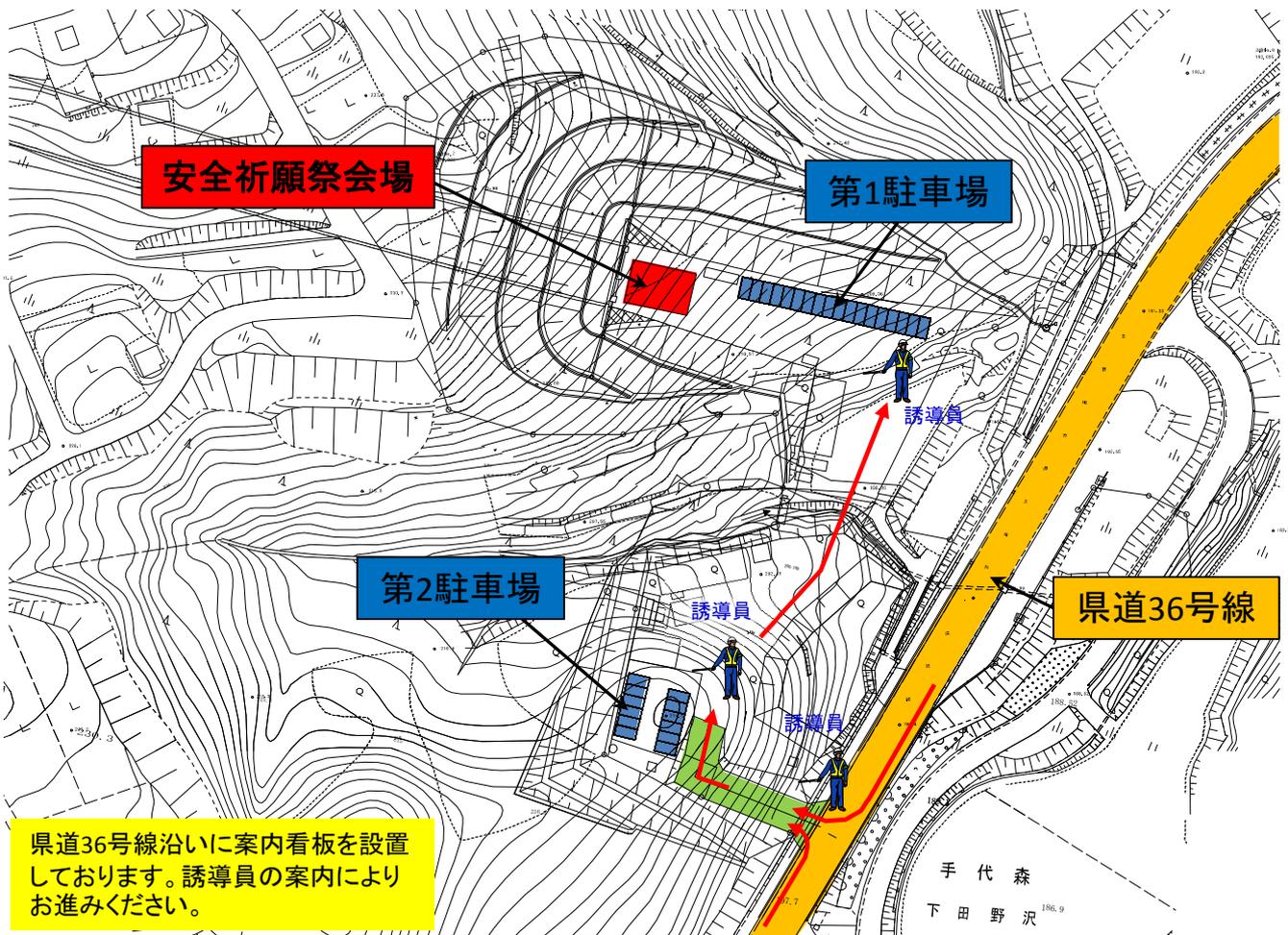
《事業に関する問い合わせ》

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

TEL 019-624-3131

副 所 長 かめい 亀井 まさよし 督悦 (内線205)

会場案内図



手代森トンネルの概要



災害時における緊急輸送道路の確保

整備効果 - 1

- ◆東日本大震災では、宮古市等の沿岸地域で甚大な被害が発生
- ◆宮古盛岡横断道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点 (滝沢市)
 国道106号 救援支援物資輸送612回
 3月12日~4月末: 県トラック協会契約分



緊急輸送道路	
津波浸水区域	

▼東日本大震災時の状況 (宮古市)



写真: 岩手日報社宮古支局 撮影



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

整備効果 - 2

- ◆ 宮古地域の管外搬送の約 95% は、盛岡市内の医療施設へ救急搬送
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

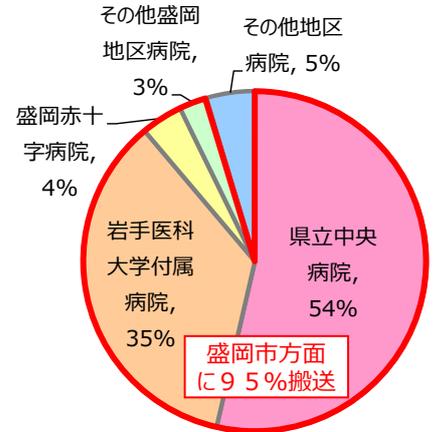
▼ 国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

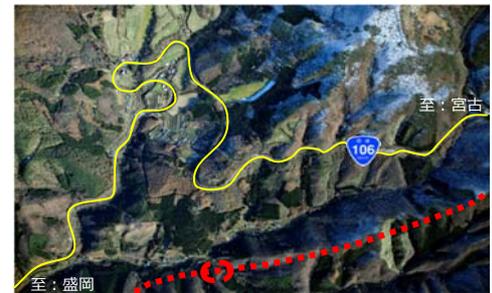
回数：17回
合計時間：112時間



▼ 宮古地域の管外搬送状況



▼ 区界地区の急カーブ状況



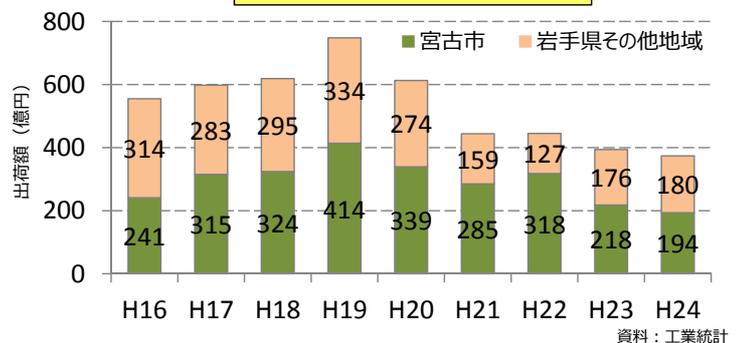
沿岸地域の主要産業の復興を支援

整備効果 - 3

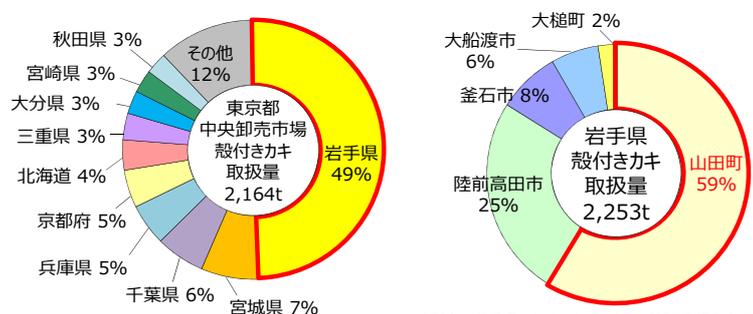
- ◆ 宮古市のコネクタ製造や山田町の養殖カキ生産は、宮古地域を代表する産業
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、輸送時間の短縮など物流効率化を促進し、沿岸地域の早期復興を支援

▼ 岩手県内のコネクタ出荷額の推移

岩手県が全国7位の出荷額



▼ 岩手県殻付きカキ取引量



【コネクタ】



【カキ】

